

令和4年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	基礎学力の充実に 向けたバランスの とれた教育課程を 編成するとともに 多様な生徒の進路 希望に対応する質 の高い学習指導に 取り組み、生徒一 人ひとりの学習機 会の拡大を促進す る。	新学習指導要領 の実施を受け、 学力の3要素を 踏まえた教育課 程の充実を図り、 「主体的・対 話的で深い学び」 を実現するため、 ICTを活用した指 導方法の工夫・改 善を図る。	①生徒が身に付け る学力の3要素 及び身に付ける ための具体的な 方策を、全教員・ 生徒で確認・共 有する。 ②ICTを利活用し、 主体的・対話的で 深い学びを実現す る指導方法を研 究する。 ③特別募集生徒を 含めてすべての 生徒に対してわか りやすい授業を目 指し、授業改善 に努める。	①生徒と共に学 力の3要素を確 認し、身に付け るための方策を 共有できたか。 ②ICTを利活用し、 主体的・対話 的で深い学びに 重点を置いた授 業の指導方法の 研究を進めるこ とができたか。 ③特別募集生徒 を含め、すべての 生徒に対し、わか りやすく充実した 授業の研究を行 ったか。
2	生徒指導・支援	①自転車乗車マナ ーの向上を積極 的に進め、交通 安全に対する取 組を組織的に推 進する。 ②生徒の自主的・ 主体的な活動を 支援し、豊かな 人間性や社会性 を培う活動内容 の充実を図る。	①登下校におけ る自転車事故防 止と運転マナー の向上のための 指導を行う。 ②生徒会活動を 支援し、生徒が 自主的・意欲的 に諸活動に参加 できるように取 り組む。	①年間を通じて交 通安全指導を実 施し、地域や外 部機関と連携を 図り交通安全に 対する意識を向 上させる。 ②ICTを活用し、 生徒会、委員会 及びボランティア 活動を活性化す るとともに、部 活動安全対策支 援事業を活用し、 部活動の充実を 図る。	①交通安全に対 する意識が向上 し、交通事故数 を減らすことが できたか。 ②ICTを活用し 生徒会、委員 会、ボランティア 活動へ生徒の自 主的・意欲的な 参加を促すこと ができたか。ま た、部活動安全 対策支援事業を 実施し、部活動 の加入率が向上 したか。

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
3	進路指導・支援	社会的・職業的に自立できる力の醸成を図り、生徒一人ひとりが主体的に進路を考える姿勢を育むキャリア教育の充実を推進する。	生徒一人一人が自身のキャリアを見通した進路決定ができるよう支援する。	①成年年齢18歳を受け、自立に向けシチズンシップ教育を推進するとともに、インターンシップやコンソーシアムを活用し外部機関との連携を図る。 ②特別募集生徒への夏季キャリア、インターンシップを実施し、「職業と生活」と連携し特別募集生徒の進路意識を高める。	①生徒一人ひとりが意識を持って、社会的自立に向けた活動をするための支援ができたか。 ②夏季キャリア、インターンシップ、「職業と生活」を通して、特別募集生徒の進路意識を高め、社会の中で生活する力を身に付けさせることができたか。
4	地域等との協働	P T Aとの連携、地域、企業の教育力の活用などにより学校理解の促進を図るとともに、地域に開かれた地域とともにある安全・安心な学校づくりを進める。	積極的に地域の人材を活用し、教育活動の充実を図り、地域に本校の教育活動を理解してもらう。	①生徒会、P T A、自治会等が連携し地域の夏祭りに協力するとともに、地域の要望を踏まえた地域貢献デーを実施する。 ②H Pを適切に更新し、積極的に情報を発信し、本校についての理解を図る。	①地域の力を活用し、連携事業を実施できたか。また、地域のニーズを踏まえた地域貢献デーを実施できたか。 ②校内の各グループ等のH P担当を中心に本校の情報を積極的に発信できたか。
5	学校管理 学校運営	①生徒の防災意識を高め、安全対策を一層強化するとともに、地域と連携した災害時の体制整備を研究する。 ②教員のワークライフバランスを推進するために、教員の働き方改革を推進する。また教育環境の変化に迅速に対応し、前向きに課題に取り組む組織の育成を図る。	①大規模災害時における安全対策を強化し学校の役割について理解する。 ②持続可能な学校運営と教育の質を高めるために、教員のワーク・ライフ・バランスの実現を目指す。	①大規模災害を想定した帰宅経路や帰宅困難者の受け入れを想定した防災計画を作成する。 ②期間を区切り年次休暇の取得状況を確認し、職員に対して計画的な取得を促すとともに、教員の長時間勤務の改善に取り組む。	①帰宅班の作成引率教諭の割当てを行い、帰宅ルートを確認できたか。また、緊急時の学校の役割を防災計画に反映できたか。 ②年次休暇を15日以上取得できたか。また、1年あたりの時間外在校等時間を360時間以下にできたか。